

臨床心理科について

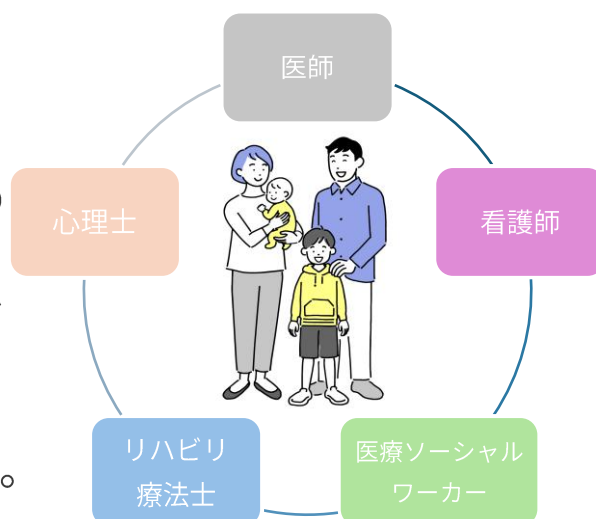
心理士とは

心理学にもとづく知識や技術を用いて、その人の抱える問題にアプローチをする、「心の専門家」です。
主な資格には、公認心理師や臨床心理士があり、医療保健、教育、福祉など、さまざまな領域で活動しています。



当院の心理士について

当院には、公認心理師と臨床心理士の両方の資格を持つ心理士が在籍し、小児科やがん相談支援センターなどで活動しています。
多職種でチームを組み、患者さんやご家族の方への支援を行なっています。



小児科での業務

当院では、小児神経領域の診療にも力を入れており、発達障害においては倉敷市の拠点病院としての役割を担っています。
心理士は、医師の指示のもと、主に心理検査を行なっています。

次のページでは、「心理検査」について
ご紹介します。

当院での心理検査について

心理検査とは

決められた課題を与え、それに対する反応から、お子さまの特徴を理解しようとするものです。心理検査の中には、発達検査や知能検査、人格検査がありますが、当院では主に発達検査や知能検査を実施しています。



よくあるご質問

Q 心理検査を受けると診断がつきますか？

A 医師が診断や援助方針を決定するための補助となりますが、心理検査を受けることで診断がつくわけではありません。心理検査は、お子さまの特徴を理解し、効果的な関わりを考えるための1つのツールです。

Q 心理検査を受ける前に、子どもにはどのように説明したらいいですか？

A 来院時には、検査者からお子さまやご家族の方に検査について説明します。そのため、ご家庭では「大人の人と一緒に勉強する」など、簡単に伝えていただければ大丈夫です。

当院での心理検査の流れ



※神経外来の受診をご希望の方は、現在受診されている医療機関またはかかりつけ医からの紹介状（診療情報提供書）をご準備の上、ご予約ください。

メッセージ

当院には、発達面が気になる、集団生活への適応に難しさがある、勉強についていくことが難しいなど、さまざまな困りや心配を抱えたお子さまとご家族の方が来院されています。お子さまのことで心配なことや気になることがございましたら、お気軽に当院小児科までご相談ください。